



・発行者・
京都障害者
スポーツ
振興会
題字 芝田 徳造

特集 障害者バドミントンの歩みと現状

日本障害者バドミントン協会

参与・強化委員(車椅子担当)

松本 勲

1 日本障害者バドミントン協会の沿革

「日本障害者バドミントン協会 (JBAD : Japan Badminton Association of Disabled Persons)」の沿革について述べさせていただきます。これは、障害者バドミントンの歴史とも言えるものです。

1980年以前、障害を持つバドミントン競技者は、各地域の障害者スポーツセンターのクラブチームや一般の体育施設で活動するクラブチームに所属し、バドミントン競技に取り組んでいました。

その中で、1980年に大阪市身体障害者スポーツセンターの利用者を中心としたバドミントンクラブ「シャトルコック」が、また、名古屋市身体障害者スポーツセンターにおいてもバドミントンクラブ「スマッシュ」が発足しました。

1984年には愛知県蒲郡市で開催された「第1回国

1991年に日本身体障害者バドミントン協会主催「第1回日本身体障害者バドミントン選手権大会」が名古屋市において開催されました。その後、全国各地の連盟による持ち回り開催形式で大会が実施され、回数を重ね、本年度は、第20回大会となる節目の大会が東京都の駒沢総合体育館で開催されることとなっています。

2 日本障害者バドミントン協会の主な活動

日本選手権の開催(年一回)、海外大会への選手派遣、強化合宿会の実施(年3回)、教室や講習会等の普及活動(協会や各地の連盟・クラブ)を行っております。また、「フィジカルトレーニング」「メンタルトレーニング」「アンチドーピング教育」「競技力強化」

の各分野に選任コーチを配置し、トータル的に選手の競技力アップを図れるサーポート体制を組んでいます。

3 日本人選手の海外での戦績

次に、日本人選手の海外での活躍状況を報告させていただきます。

まず、バドミントン競技がパラリンピック大会の種目となっていない中、国際的に大きな大会として、「フェスピック大会」(4年毎)、「世界障害者バドミントン選手権大会」(2年毎)、「アジアパラリンピックバドミントン大会」(2年毎)となりま

直近の各大会の成績

フェスピック大会	開催年	2006年
開催地	クアラルンプール	
成績	金:0 銀:4 銅:5	
世界選手権大会	開催年	2009年
開催地	大韓民国	
成績	金:2 銀:3 銅:7	

上記のように、日本人選手も国際大会において検討しておりますが、全体の選手層が薄く、後進が続かない状況にあります。協会、各地の連盟・クラブにおいて教室等の普及活動を行っておりますが、厳しい状況にあります。

おわりに

拙い文章ではありますが、障害者バドミントンの沿革・現状について報告させていただきました。皆様の周りに、障害を持つバドミントンに取り組んでいる熱意ある選手、障害が有るがバドミントン競技に興味を持っていらっしゃる人がおられれば、「日本障害者バドミントン協会」が有つて、こんな事をやっているみたいやで。」と伝えていただければ幸いです。

なお、本年度の協会主催及び各地域で開催される大会の年間計画及び連絡先は、下記の協会の「S」にアクセスして頂ければ確認できます。

URL
http://www.jbad.org/schedule/index.html

行事予定	5月	11(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月の つどいは 6 / 13 第2日曜日
		16(日)	第44回スポーツレクリエーションフェスティバル	丹波自然運動公園	
			222回障害者水泳のつどい	伏見港公園プール	
		23(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	6月	30(日)	第22回京都市障害者体育大会	京都市西京極補助競技場	
		2(水)	精神障害者バレーボール大会近畿予選	京都市立体育館	
			6(日)	223回障害者水泳のつどい	
		8(火)		乙訓障害者スポーツのつどい	
				丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園
<p>京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010</p> <p>http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2010年4月18日に一部更新)</p>					

